

「地域課題解決に向けた技術セミナー@徳島」を開催

《SCOPEを利用した徳島大学の研究開発の成果発表と地域課題解決に資するドローン技術の動向》

➤ 総務省四国総合通信局(局長:吉武 久)は、四国情報通信懇談会(会長:松田 清宏 四国旅客鉄道株式会社 相談役)とともに、平成29年9月4日(月)に徳島市で「地域課題解決に向けた技術セミナー@徳島」を開催し、ICT関連企業、建設関連企業、地方公共団体などから80名が参加しました。

➤ セミナーは以下のとおり3部構成で行われました。

1. SCOPE※を利用した徳島大学の研究開発の成果発表

国立大学法人徳島大学大学院社会産業理工学研究部 講師 光原 弘幸 氏から、ゲーム要素を取り入れた避難訓練等を実現するICT活用地域密着型防災システムの概要と徳島県内において実践してきた防災教育について発表がありました。

2. 地域課題解決に資するドローンの最新の技術

はじめに、国立大学法人徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 三輪 昌史 氏から、インフラ点検にも活用されるようになってきたマルチコプタについて、運用に関する法律、使用電波の特性や他の電波による操縦への影響などの運用時の注意事項について説明がありました。

続いて、株式会社ダンクソフト神山ブリッジキャプテン 本橋 大輔 氏から、ドローンの技術を題材に小学校で行っている授業について紹介があり、ドローン教材は「実験を通して」サイエンスを身近に体験させることができ、STEM(科学・技術・工学・数学)教育に繋がる要素を全て含んでいるとの説明がありました。

最後に、株式会社三重計測サービス 代表取締役社長 横山 薫 氏から、昨今、画期的な魔法の道具の様に捉えられているドローンによる3次元計測について、多種多様なフィールドにおいて、複合的に使用される計測手法の1つとしてのドローンの役割を、計測事例を交えて紹介されました。

3. ドローンのデモンストレーション・情報交流会

屋外で行われた三輪講師によるドローンのデモンストレーションでは、地上から上昇するドローンやドローンからの映像を体験しました。引き続きで開催した情報交流会では、講師を囲んでICTや建設関係をはじめとした異業種交流が行われました。

➤ セミナー後のアンケートを集約したところ

「③のドローンを教わった教育が良かった。周囲の人々の反応も面白い。」「有意義かつ楽しいセミナーでした。ありがとうございました。」「③と④が大変よかった。もっと時間をとってお聞きたい。」などのコメントがありました。

※ 戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE) は、情報通信技術 (ICT) 分野において新規性に富む研究開発課題を大学・独立行政法人・企業・地方公共団体の研究機関などから広く公募し、選考評価の上、研究を委託する総務省の研究開発資金です。これにより、若手ICT研究者の育成、中小企業の斬新な技術の発掘、ICTの利活用による地域の活性化、国際標準獲得等を推進する事業です。29年度はこれまでに四国で7件の応募があり、2件が採択されています。

(お問い合わせ先) 情報通信部 電気通信事業課 089-936-5043

「地域課題解決に向けた技術セミナー@徳島」の概要

1. SCOPEを利用した徳島大学の研究開発の成果発表

演題①: 「“命を守る”ためのICT活用地域密着型防災システム」

講師①: 国立大学法人徳島大学大学院社会産業理工学研究部
講師 光原 弘幸 氏

2. 地域課題解決に資するドローンの最新の技術

演題②: 「マルチコプタによるインフラ点検作業での注意事項」

講師②: 国立大学法人徳島大学大学院社会産業理工学研究部
准教授 三輪 昌史 氏

演題③: 「羽音を立てて明滅する飛行体はSTEMの入口たりうるか」

講師③: 株式会社ダンクソフト神山ブリッジキャプテン 本橋 大輔 氏

演題④: 「ドローン利活用最前線。」

計測、調査、ダムから文化財まで、実業務での事例を紹介
講師④: 株式会社三重計測サービス 代表取締役社長 横山 薫 氏

3. ドローンのデモンストレーション

(主催) 四国総合通信局、四国情報通信懇談会 ICT研究交流フォーラム
(後援) 国土交通省徳島河川国道事務所、徳島県、国立大学法人徳島大学、公益財団法人e-とくしま推進財団、四国経済連合会



徳島大学 光原 弘幸 氏



徳島大学 三輪 昌史 氏



セミナー会場の様子



(株)ダンクソフト 本橋 大輔 氏



(株)三重計測サービス 横山 薫 氏